

令和4年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川西小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和4年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」（文部科学省）より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和4年4月19日（火）

4 調査の内容

(国語、算数、理科) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校調査は、国語、算数、理科とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。 	
	【小学校 国語・算数・理科 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など
【20分程度】		

本校の調査結果の概況

小学校

<教科に関する調査> は全国平均正答率を上回ったもの



国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使い方に関する事項	5	68.5	70.4	69.0
我が国の言語文化に関する事項	1	80.2	80.7	77.9
話すこと・聞くこと	2	68.4	68.1	66.2
書くこと	2	50.0	49.7	48.5
読むこと	4	71.2	68.2	66.6

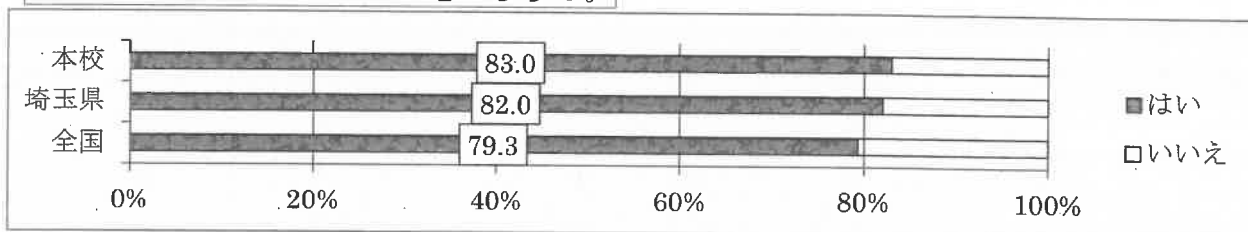
算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	6	70.1	69.9	69.8
図形	4	64.6	64.5	64.0
変化と関係	4	49.8	51.8	51.3
データの活用	3	68.9	69.2	68.7

理科				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
「エネルギー」を柱とする領域	4	48.1	52.5	51.6
「粒子」を柱とする領域	5	60.2	61.6	60.4
「生命」を柱とする領域	5	75.5	76.7	75.0
「地球」を柱とする領域	5	64.2	65.3	64.6

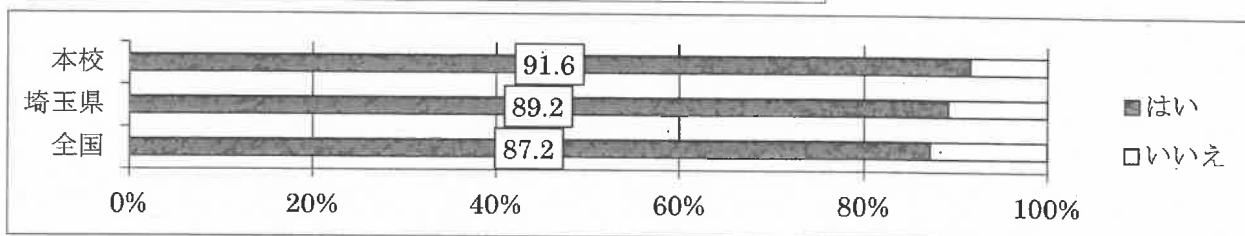
<児童への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

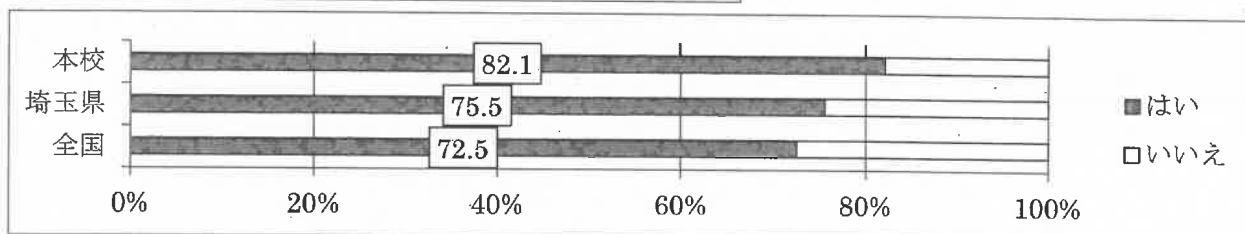
自分には良いところがあると思いますか。



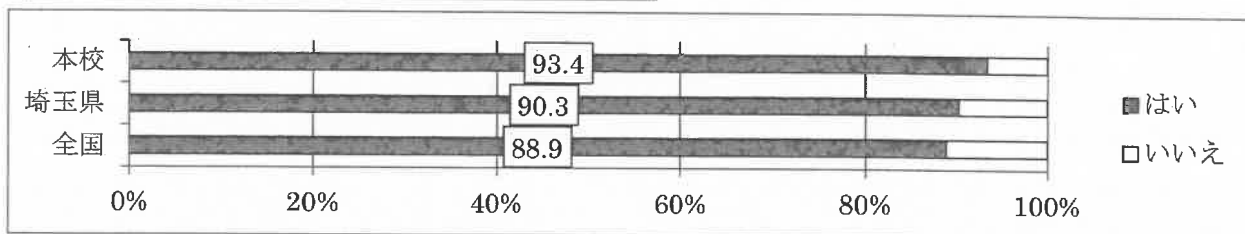
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。



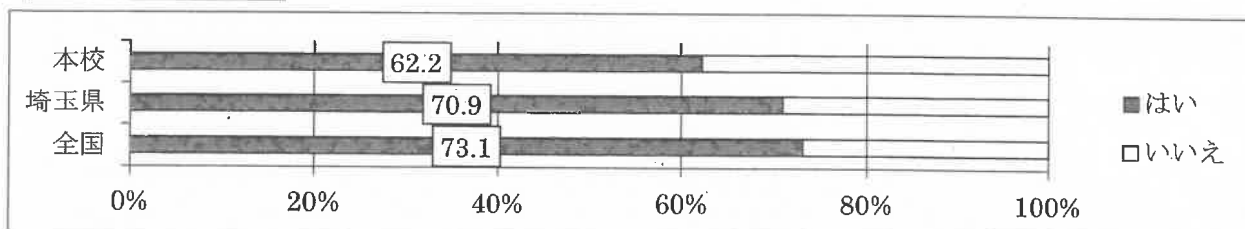
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。



人が困っているときは、進んで助けていますか。



読書は好きですか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

全国と比較して、「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の4領域で平均正答率を上回る結果となりました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国や県よりも平均正答率を下回っており、本校の課題といえます。

【問題1三】

問題の概要

【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する。

必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、中心を捉えることができるかをみる設問です。全国平均よりも7.8%、県平均よりも6.8%高い正答率でした。学校課題研究でも取り組んでいる、日頃の伝え合い、話し合いの取組の中で、発言の意図などを理解する力が身につけてきていると考えます。

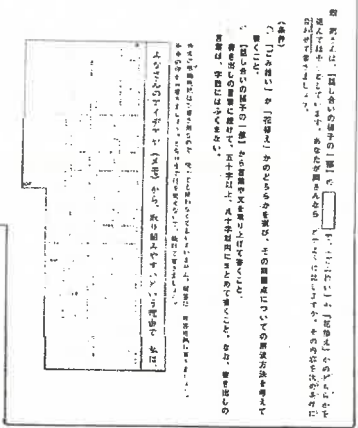
- 1 ペンキをぬり直すことが公園の遊具で遊べることにつながる理由
- 2 ペンキをぬり直すことが、自分たちで遊ばないことにつながる理由
- 3 ペンキをぬり直すことが、公園をきれいにするにつながる理由
- 4 ペンキをぬり直すことが、その公園に遊ぶことにつながる理由

【問題1四】

問題の概要

「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、どのように話すかを書く。

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかをみる設問です。全国平均よりも3.4%、県平均よりも6.2%低い正答率でした。学習指導に当たっては、話し合いの展開や内容を踏まえて意見を整理すること、様々な視点から検討して自分の考えをまとめ複数の条件に適合して書くこと、ができるよう指導を充実させていきます。



<算 数>

【領域別】

全国と比較して、「数と計算」「図形」「データの活用」の3領域で平均正答率を上回る結果となりました。「変化と関係」で全国や県よりも平均正答率を下回っており、本校の課題といえます。

【問題1(2)】

問題概要

14と21の最小公倍数を求める。

正答 42
二つの数の最小公倍数を求めることができるかをみる設問です。全国平均よりも5.2%、県平均よりも5.8%高い正答率でした。日頃から基礎的・基本的な知識や計算技能が身につくよう授業の工夫や反復練習を行っているため、最小公倍数という概念の理解をもとに、正確な解答ができたと考えます。

あいりさんは、AセットとBセットのアップケーキを同じ個数にそろえたと、どちらのほうが安くなるのかについて考えています。

(2) まず、あいりさんは、AセットとBセットをそれぞれ何箱か買ったとして、考えることにしました。

アップケーキの個数を、14と21の最小公倍数にそろえて、あいり君が考えます。

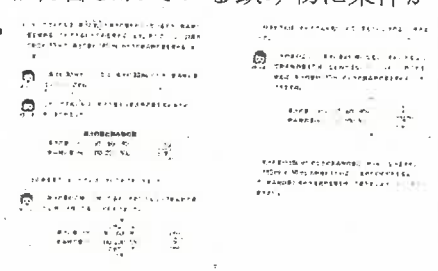
14と21の最小公倍数を書きましよう。

【問題2(4)】

問題概要

果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの飲み物の量の求め方と答えを書く。

伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかをみる設問です。全国平均よりも3.7%、県平均よりも3.5%低い正答率でした。学習指導に当たっては、日常の具体的な場面に対応させて割合を捉えること、自分の考えを式や言葉を用いて論理的に記述すること、ができるよう指導を充実させていきます。



<理科>

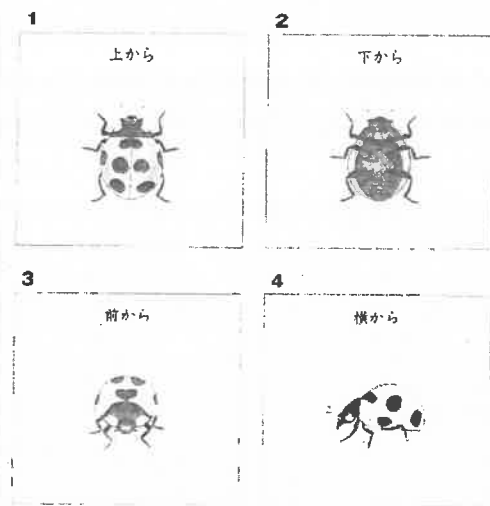
【領域別】

全国と比較して、3領域で平均正答率を下回る結果となりました。県との比較では、全ての領域（4領域）で平均正答率を下回る結果となりました。全体として、「エネルギーを柱とする領域」の全国や県の平均正答率との差が比較的大きく、本校の課題といえます。

【問題1（3）】

問題概要

(3) みどりさんは、ナナホシテントウがこん虫であることを説明しようとしています。こん虫であることを体のつくりから説明するために、どのような写真が必要ですか。下の1から4までの中から最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きましょう。



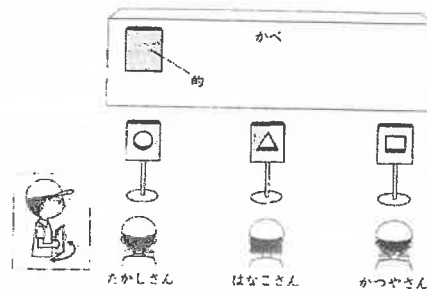
正答 2

昆虫の体のつくりを理解しているかをみる設問です。全国平均より2.4%、県平均より0.3%高い正答率でした。日頃から、観察したことや調べたことを知識と関連づけ理解を深める学習活動を行っていることが要因と考えます。

【問題3（1）】

問題概要

3 たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にあるあてに、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

正答 3

日光が直進することを理解しているかをみる設問です。全国平均より3.3%、県平均より3.8%低い正答率でした。主体的な問題解決を通して知識を習得できるよう指導を充実させます。

<質問紙調査から>

【質問番号12】

【質問】人が困っているときは、進んで助けていますか。

【回答】当てはまる・どちらかといえば、当てはまる

- ・・・93.4% (本校)
- 90.3% (埼玉県)
- 88.9% (全国)

本校では、なかよし班や登校班、委員会活動やクラブ活動、通学班ブロック下校など、異学年の交流がさかんであり、学級の雰囲気も良好です。新型コロナウイルスの影響により制限される活動が多い中でも、感染症拡大防止に十分気を配りながら西つ子フェスティバルも行っています。そうした環境の中で、自然と協力し合い助け合う心情が醸成されていると考えます。

【質問番号26】

【質問】読書は好きですか。

【回答】当てはまる・どちらかといえば、当てはまる

- ・・・62.2% (本校)
- 70.9% (埼玉県)
- 73.1% (全国)

本校では、朝の読書タイムや読み聞かせの取組、図書室の整備・活用を進め、読書活動のさらなる推進と家庭への奨励を行っています。また、11月には、図書館教育部による読書月間の取組を行っています。読書は、豊かな感性や情操、想像力、語彙力や読み取りの力など、大切な「心の栄養」や学習等に必要な力をつけてくれます。引き続き、読書活動のさらなる推進を進めてまいりたいと思います。

＜埼玉県学力・学習状況調査の概要＞

※「令和4年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和4年5月11日（水）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

＜教科に関する調査＞ は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	14	65.8	70.2	15	65.1	64.3	15	66.6	66.8
情報の扱い方、我が国の言語文化	3	54.3	59.0	2	66.7	59.1	2	62.3	63.6
話すこと・聞くこと・書くこと	5	34.6	40.5	5	46.3	49.5	5	69.5	65.3
読むこと	4	58.6	63.1	8	44.2	44.5	8	57.2	57.4
※学力の伸びた児童の割合					↑	↑↑		↑↑↑↑	↑↑↑↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	13	60.1	64.0	13	67.2	62.2	13	60.6	64.2
図形	6	45.8	51.4	8	59.8	56.7	8	51.9	56.7
4年測定 5、6年変化と関係	6	57.8	61.8	5	76.8	74.1	5	62.4	65.0
データの活用	5	73.6	75.7	6	65.8	64.0	6	48.3	50.3
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑	↑↑↑		↑↑↑	↑↑↑

<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段: 県の達成率、下段: 本校の達成率、 は80%以上 (%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	89.1 91.6	91.9 92.3	93.8 97.3	
	② 授業の開始時刻	87.8 82.4	90.9 85.5	94.2 99.1	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	79.6 72.3	82.1 74.4	85.5 87.3	
	④ 整理整頓	76.2 73.1	76.7 79.5	79.9 83.6	
	○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
		⑤ あいさつ	75.8 68.1	75.6 70.9	77.7 73.6
⑥ 返事		85.5 81.5	85.6 87.2	86.1 89.1	
4 ていねいな言葉づかいを身に付ける					
⑦ ていねいな言葉づかい		82.3 71.4	85.1 82.9	87.7 86.4	
⑧ やさしい言葉づかい		81.8 79.0	83.2 85.5	83.5 81.8	
○約束やきまりを守ることができる		5 学習のきまりを守る			
		⑨ 学習準備	82.3 86.6	84.6 88.0	87.2 90.0
	⑩ 話を聞き発表する	75.1 75.6	74.5 70.9	74.9 78.2	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	81.4 78.2	81.9 82.9	83.2 84.5	
	⑫ 掃除・美化活動	89.2 87.4	87.6 92.3	86.5 83.6	

本校の学力向上の取組

授業における取組

☆1 個に応じた指導を充実しています。

- (1) チームティーチングで、きめ細やかな指導をします。
- (2) 単元ごとのワークシートを活用し、習熟度の確認をします。
- (3) プレテストやコバトン問題集等を活用し、児童の実態を把握します。

☆2 全教科で言語活動の充実をはかっています。

単元の流れを見通して、豊かに表現する活動を取り入れることを目標にします。

- (1) 意見や事実を考える。
- (2) 考えたことを書く。
- (3) 書いたことを話し合ったり、伝え合ったりする。(ペア・グループ・学級内で)

☆3 年間2回、スキルアップタイム(国語・算数)を実施し、その学年で身につけなければならない基礎的・基本的な事項についてテスト形式で確認し、その結果を授業や宿題等に反映させ学力の確かな定着を図ります。

(コバトン問題集や復習シート等を活用します。)

☆4 授業力を向上させるため、互いの授業を見合う場をより多く設定し、授業について話し合う場を通して教師同士の学びを深めます。

■5 デジタル教科書やタブレット、クロームブックなどのICT機器を活用することで、子供達の興味関心を引き出したり、学習の理解を深めたりすることができるよう教材研究を進め、授業を展開します。また、研修で活用の仕方を周知し、活用できるようにしていきます。

■6 身の回りの整理整頓やチャイム着席、学習準備などの規律が身につくよう校内の約束事を周知し、当たり前前の方が当たり前前にできるようにしていきます。

授業以外の取組

☆1 個々の評価を蓄積し、個の実態を把握した学習指導を行っています。

☆2 授業規律の確立のため、学年ごとの学習用具のきまりを各学級で指導しています。

☆3 図書室の整備・活用を進め、読書活動のさらなる推進と家庭への奨励を行っています。11月には、図書館教育部による読書月間の取組をしています。

☆4 学校行事等、児童が目標やめあてをもって、最後まで取り組めるよう、また友達と協力して絆が深められるよう、指導や支援を行っています。

☆5 家庭と協力して、家庭学習の習慣化を図り、学力の定着を目指します。

■6 県作成のコバトン問題集や復習シート、学力向上ワークシート等を授業や宿題等で活用することで学力の向上を図ります。

■7 校内の研修会を実施し、職員の指導力の向上を図ります。

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

本校の学力向上プラン

学力向上プラン

令和4年度 浦川西小学校学力向上プラン全体計画

日本国憲法 教育基本法、学校教育法
学習指導要領
埼玉県教育行政推進計画
埼玉県教育委員会
指導の重点（埼玉県教育委員会）

学校教育目標
○かしこく、思いやりのある子
○ゆたかに、思いやりのある子
○たくましく、つよい心をもちつつ

児童・家庭・地域の連携
・児童に開かれ、素直、協力的であるが、積極性を伸ばさなくてはならない。また、自己を表現する力も弱い。
・児童数はほぼ横ばいで、保護者の職業は会社員等が多く、共働き家庭や一人暮らしが増加している。
・学区は緑地や雑木林の多い新興住宅地であり、住民の割合は低下している。

各教科等の指導の重点

国語
○学校研究を推進する。
○望ましい学習環境の整備をする。
○確かな基礎能力の育成と評価の工夫をする。
○日常生活で活用できる言語能力を身に付けさせるため、習熟例を基に指導する。

社会
○児童が主体的に立ち回るような学習環境を整備する。
○地域教材の収集と教材化を進め、児童が興味をもって取り組めるような工夫をする。
○学習に役立つ教材の選定、更新を積極的に進める。

算数
○習得の時間を活用して、習得率の基礎的な技能を身に付けさせる。
○数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づかせ、迷った学習に取り組もうとする態度を育てる。

理科
○基礎的・基本的な知識・技能の定着と科学的な思考力や表現力の育成を図る。
○予習の習慣を身に付け、実験などを行い、問題解決能力を養う。

各教科等の指導の重点

外国語活動・外国語
○外国語によるコミュニケーションにおける聞き方・考え方を働かせ、基礎的な言語活動を促して、コミュニケーションを図る基礎的な資質・能力を育成する。
○A.I.Tとの連携を促し、効果的なA.I.T活用を行う。
○総合的な学習の時間
○探究的な見方・考え方を働かせ、より深い理解を促すための授業を展開する。
○地域や学校、児童の実態を生かし、学習環境の整備と保護者や地域の支援につとめを行う。

道徳教育
○道徳的価値の自覚と、自己の生き方についての考えを深める道徳的発展の基盤を築き、先賢を学ぶ。
○学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育の充実を図る。

特別活動
○学年・学級単位の活動を通して、児童間の関わりを深める。
○学校活動の充実を図り、総合的な学習を推進する。
○体験活動を通じた、児童一人一人が学校や学校に貢献するよう生活や人間関係を築く。

目指す学校像
子供、保護者、地域に信頼される学校
(学力向上にかかわる方)
○基礎的・基本的な学力を明確にし、確実に身に付ける。
○学び・基本的な学習態度を明確にし、確実に身に付ける。

令和4年度埼玉県学力・学習状況調査及びアンケート等から見た課題
①教科での基礎となる基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、活用すること。
②文法を基礎として文章の意味を理解し、読み取ること。
③国語辞典、辞書辞典を積極的に活用し、学習をすすめること。
④国語辞典（辞書の読み）の活用を身に付けること。
⑤読書活動ももたら、自分の考えをまとめ、表現する力（話す・書く）を身に付けること。
⑥話を聞き、発表すること。
⑦進んで取り組むこと。
⑧夢の届く目標設定をすること。
⑨国語の結果が国語と比べて下回っている区分も大きな課題がなく、悪化傾向であった。
★「勉強していいところ」と思ったところは、言わなくてもノートにまとめるが、結果、市よりも低くであった。
一応書き写すのみならず、大切なことを自らメモする習慣が身に付くよう指導をする。

各教科等の指導の重点

外国語活動・外国語
○外国語によるコミュニケーションにおける聞き方・考え方を働かせ、基礎的な言語活動を促して、コミュニケーションを図る基礎的な資質・能力を育成する。
○A.I.Tとの連携を促し、効果的なA.I.T活用を行う。
○総合的な学習の時間
○探究的な見方・考え方を働かせ、より深い理解を促すための授業を展開する。
○地域や学校、児童の実態を生かし、学習環境の整備と保護者や地域の支援につとめを行う。

道徳教育
○道徳的価値の自覚と、自己の生き方についての考えを深める道徳的発展の基盤を築き、先賢を学ぶ。
○学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育の充実を図る。

特別活動
○学年・学級単位の活動を通して、児童間の関わりを深める。
○学校活動の充実を図り、総合的な学習を推進する。
○体験活動を通じた、児童一人一人が学校や学校に貢献するよう生活や人間関係を築く。

各教科等の基礎となる基礎的・基本的な知識・技能と態度を身に付け、本校設置の学力を向上させる。
＜具体的目標＞
令和4年度埼玉県学力・学習状況調査において、国語と算数の2教科ともに埼玉県・全国平均正答率を上回ることを目指す。
令和4年度埼玉県学力・学習状況調査で、各教科の得点すべて（24教科）の埼玉県平均正答率及び伸び率を上回ることを目指す。

教科	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
学習の観点	基礎的・基本的な知識・技能の定着	基礎的・基本的な知識・技能の定着	基礎的・基本的な知識・技能の定着	基礎的・基本的な知識・技能の定着	基礎的・基本的な知識・技能の定着	基礎的・基本的な知識・技能の定着
取組の基本的方針	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着
実践のための具体的取組（手段と方法）	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着
展開する学習者	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○教科書・教材の活用 ○基礎的・基本的な知識・技能の定着

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査平均正答率 浦川西小学校 64.511 4.5, 6年生

教科	区分	4年生			5年生			6年生		
		本校	埼玉県	埼玉県	本校	埼玉県	埼玉県	本校	埼玉県	埼玉県
国語	読解力	57.4	59.9	62.1	56.6	57.4	58.3	64.3	63.5	63.8
	読解力(読解)	55.6	59.7	70.2	54.7	55.8	64.3	63.8	63.4	63.8
	読解力(読解)	54.3	55.7	58.0	56.7	62.1	58.1	62.3	65.3	63.9
算数	算数(算数)	34.8	40.3	40.5	48.3	47.1	49.5	59.9	56.2	65.3
	算数(算数)	34.8	40.3	40.5	48.3	47.1	49.5	59.9	56.2	65.3
	算数(算数)	34.8	40.3	40.5	48.3	47.1	49.5	59.9	56.2	65.3
理科	理科(理科)	58.0	65.0	63.1	44.2	46.9	44.3	57.2	58.0	57.4
	理科(理科)	58.0	65.0	63.1	44.2	46.9	44.3	57.2	58.0	57.4
	理科(理科)	58.0	65.0	63.1	44.2	46.9	44.3	57.2	58.0	57.4
総合	総合(総合)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総合(総合)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総合(総合)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

令和4年度 全国学力・学習状況調査平均正答率 浦川西小学校 64.119 6年生

区分	算数	理科
全国(全国)	65.6	63.3
本校	67.1(+1.4)	63.1(-0.2)
	68.1(+0.9)	63.3(+0.3)

※算数は、平均正答率(%)、4問(1問の誤答は、全国平均正答率との比較を4とした)

保護者・地域の皆様へ

日頃から本校の教育活動へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果から、本校では、早寝・早起き・朝ごはんや家庭での学習環境など、基本的な生活リズムの整っている児童が多い傾向にあります。また、ゲームやスマートフォン等との関わり方、日々の学習用具の準備等について、引き続きご家庭でも見守りやご指導・ご支援をお願いいたします。